

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価							福山市立		津之郷小		学校				
年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）				最終評価（2月末）				
							□指標に係る取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期（中期）経営目標の 達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
3	課題発見・解決力の育成とコミュニケーション力向上	★	継続	・学習内容の定着及び目標に向かって児童自ら選択・決定する場面・他者との対話から学びを深める場面を大切にしたい学びづくり	・「明確なゴールの設定」「学習方法の選択・決定」「対話の充実」「学びの振り返り」の視点で授業づくりを行う。 ・学びづくりのための計画的な研修を実施する。	・「安心して発言できる」と回答する児童85％以上。 ・「学習を振り返り、次の学習に生かしている。」と回答する児童80％以上。 ・「粘り強く最後まで学習に取り組む。」と回答する児童80％以上。 ・各種学力調査及び国語、算数の単元末テスト正答率40％未満の児童18％以下。									
5	豊かな心の育成	★	継続	・他者とかかわりから自分の良さに気づき、共によりよく生きようとする児童の育成	・児童会活動(縦割り班活動等)の充実を図る。 ・道徳の授業を中心に、対話や交流から自分の良さに気付かせる取組を進める。	・「友達や他学年の児童と協力して活動できた」「自分の役割を果たせた」と回答する児童90％以上。 ・「自分には良い所がある」と回答する児童80％以上。									
3	たくましい体の育成		継続	・友達と関わりながら運動することで運動の楽しさを味わう児童の育成 ・生活リズムを守る意識の向上	・運動の特性に触れる体育科の授業づくりを進める。 ・なわとびチャレンジやランタイム等、運動する機会を設定する。 ・「健康ウィーク」の取組を進める。	・「体育の授業が楽しい」と回答する児童80％以上。 ・「運動の特性に触れる授業づくりの工夫をしている」と回答する教職員90％以上。 ・「生活時間を決めて守ることができた」と回答する児童80％以上。									
4	信頼される学校づくりの推進		継続	・働き方改革を進めながら、児童や保護者が「学校は楽しい」と言える学校づくりを推進する。	・業務改善を進め、職員のやりがい伸を伸長する。 ・学校だよりやHPで学校の様子を発信する。	・「仕事にやりがいを感じている」「学びづくりを通して成長した」と回答する教職員90％以上。 ・時間外勤務時間月40時間以内の教職員90％以上。 ・学校だよりによる発信月2回、HP更新月1回以上。 ・「学校は楽しい」と回答する児童・保護者90％以上。									

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際は協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際は協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。